

令和4年度事業の実施状況 報告資料

令和4年9月7日

令和4年度の事業の進捗状況

1. やまがた街なか出店サポートセンター事業

(1) 実績（令和4年4月～令和4年7月）※【資料2】、【資料3】参照

令和4年7月末時点までの相談件数は、例年と同水準となっている。

① 相談件数(延べ件数) 内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	48	23	52	25									148
R3	43	37	32	43	31	35	44	36	32	33	36	46	448
R2	44	34	47	34	50	44	46	54	37	37	30	46	503

〈各年度7月末時点件数〉 R4年度:148 R3年度:155 R2年度:159

(参照)相談内容の内訳(令和4年度)

		4月	5月	6月	7月	合計	
相談対応回数		48	23	52	25	148	
来所対応	新規来所	5	3	9	3	20	
	再来所	11	7	7	9	34	
	電話	相談者	9	2	14	5	30
		不動産業者・支援機関	11	4	13	3	31
	不動産オーナー	3	1	4	1	9	
	金融機関・不動産業者	3	1	0	0	4	
	その他	1	2	0	0	3	
所外対応	内見	3	2	4	3	12	
	現場打合せ(店舗訪問)	2	1	1	1	5	
	市(創業ゼミなど)	0	0	0	0	0	
	商工会議所・金融機関	0	0	0	0	0	

【主な相談対応内容】

- ・ 出店相談者
物件情報、補助金活用、事業計画書作成相談、出店に向けた準備に関する相談など
- ・ 不動産事業者、金融機関
空き物件情報の提供・照会、商談中相談者の進捗状況について等
- ・ 物件オーナー
自社物件の貸出や利活用について

② 相談者新規出店数 内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	2	0	0	1									3
R3	0	2	0	4	2	1	0	2	0	0	0	0	11
R2	3	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	1	11

〈各年度7月末時点出店数〉 R4年度:3 R3年度:6 R2年度:6

(内訳)

- ・R4年度：飲食業 1件、その他生活関連サービス業 1件、不動産賃貸業・管理業 1件
- ・R3年度：小売業(物販) 4件、その他生活関連サービス 4件、飲食業 2件、理容美容業 1件
- ・R2年度：飲食業 7件、小売業(物販) 2件、医療福祉(医療に付帯するサービス業) 1件、教育・学習支援業 1件

【参考】 中心市街地エリア全体の出店数 (山形エリアマネジメント協議会調べ)

※カッコ内は「山形市中心市街地新規出店者サポート事業費補助金」活用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	3	2	4	4									13
R3	1	5	5	9	3	3	3	5	1	4	1	4	44
R2	4	3	0	7	1	2	2	3	0	2	4	1	29

〈各年度7月末時点出店数〉 R4年度:13 R3年度:20 R2年度:14

(内訳)

- ・R4年度：飲食業 6件、小売業 3件、その他生活関連サービス業 2件、不動産賃貸業・管理業 2件
- ・R3年度：飲食業 27件、小売業 9件、その他の生活関連サービス業 4件、理容美容業 3件、宿泊業 1件
- ・R2年度：飲食業 19件、小売業 6件、医療福祉(医療に付帯するサービス業) 1件、スポーツ施設提供業 1件、エステティック業 1件、教育・学習支援業 1件

(2)空き店舗数（令和4年7月末現在）

毎月月末に下記の調査範囲において空き店舗調査を実施している。調査結果は下表の通りとなっており、前年同期比でほぼ同水準となっている。

調査範囲：山形市中心商店街街づくり協議会加盟9商店街、

旅籠町新道商店会、七日町新道商店街振興会、七日町仲通り商店会のエリアのうち、通りに面した建物の1、2階部分の空き店舗

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介可能 物件	1階	30	29	29	29								
	2階	54	54	55	55								
空き店舗数合計		84	83	84	84								
物件数合計		802	807	806	804								
空き店舗率(%)		10.5	10.3	10.4	10.4								

※ 令和3年度空き店舗数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介可能 物件	1階	33	32	31	34	32	32	32	30	28	28	27	30
	2階	53	56	57	54	56	59	56	56	57	57	57	57
空き店舗数合計		86	88	88	88	88	91	88	86	85	85	84	87
物件数合計		801	802	801	803	808	806	808	809	810	810	811	810
空き店舗率(%)		10.7	11.0	11.0	11.0	10.9	11.3	10.9	10.6	10.5	10.5	10.3	10.7

2. 街なか情報発信事業

(1)「はい！やまがたでした！」のサイト閲覧件数（平成30年7月12日開始）

総閲覧件数は、令和4年～7月の4ヵ月間で前年同期比で上回っている。特に5月～7月の件数が顕著であり、5月はスプリングフェスティバル、6月はべに街道キャンペーン、7月は街なかマルシェの開催に伴う情報発信により閲覧件数を伸ばしている。今後も街なかで開催されるイベントに関する情報発信を行うことで、アクセス数の増加を図っていく。

	総閲覧件数		1日平均		
	R3	R4	R3	R4	
4月	2,501	2,754	83	92	
5月	2,574	3,665	83	118	※スプリングフェスティバル
6月	1,800	2,795	60	93	※べに街道キャンペーン
7月	2,916	3,696	94	119	※街なかマルシェ
8月	2,451		79		
9月	2,755		92		
10月	4,827		156		
11月	5,743		191		
12月	3,042		98		
1月	11,517		372		
2月	2,825		101		
3月	3,894		126		
合計・平均	46,845	12,910	128	106	

(2)「はい！やまがたでした！」のインスタグラム

新規出店に関する情報のほか、中心市街地のイベントに関する情報や店舗発信の情報をストーリーズ機能なども併用しながら、ホームページにはないインスタグラムの機動性を活用し街なかのリアルタイムな情報を網羅的に発信する独自性を持たせフォロワー数増加を図る。

3. 各種調査事業

(1) 中心商店街における業種構成調査 ※【資料4】参照

中心市街地内の商店街エリアにおける1～2階の店舗の業種構成の調査を行った。

- ①調査期間: 令和4年4月
- ②調査対象: 中心市街地エリア内の商店街エリアにおける1～2階店舗 + 大型店のテナント
- ③調査方法: 目視等による調査
- ④調査内容: 業種(物販、飲食、サービス等)
- ⑤調査結果: 全体1,312件

(表) 中心商店街エリア全体

年度	物販	飲食・昼	飲食・昼夜	飲食・夜	サービス	生活関連	教育	医療福祉	駐車場	宿泊	娯楽	観光	空き店舗	事務所系	その他	合計
H29年度	458	122		379	110		23	35	106	14		30	137	141	20	1575
H30年度	387	120		377	111		22	34	110	14		30	136	139	20	1500
R1年度	376	122		376	112		22	34	111	14		30	140	146	20	1503
R2年度	250	123		370	108		22	33	108	14		25	157	147	19	1376
R3年度	254	126		344	100		21	33	110	15		25	198	145	20	1391
R4年度	271	30	104	341	59	61	22	36	108	14	15	1	125	111	14	1312
前年比	106.7%	23.8%	100.0%	99.1%	59.0%	100.0%	104.8%	109.1%	98.2%	93.3%	100.0%	4.0%	63.1%	76.6%	70.0%	94.3%

【概要】

- 「物販」について、民間開発のマンションやホテルなどの低層階への出店なども相まって、増加している。
- 令和3年度は飲食業全体の数値がコロナの影響で前年より減少していたが、飲食の新規出店の動きが出始めたために、令和4年度は微増している。
※令和4年度調査より、飲食業の昼夜営業の店舗について、新たに「飲食・昼夜」と分類している。
- 「飲食・夜」と「空き店舗」を合わせると、全体の36%が昼間に開いていない。

(2) 来街者アンケート調査(令和4年度) ※【資料6】参照

旧大沼百貨店の閉店やコロナ禍の影響による市民生活の現状や意識の変化を的確に把握し、新たな視点に立って事業を展開するための基礎データを取ることを目的として、アンケート調査を行った。

①調査期間:7月14日(木)~7月18日(月)

②調査対象:中心市街地の来街者(高校生以上)

③調査場所:山形駅自由通路、山交ビル前、アズ七日町前、市役所

④調査方法:アンケート用紙への記入

回答者数:1,318人

回答者属性:男性:36%、女性:62% その他:1% 無回答:1%

10代:17%、20代:15%、30代:12%、40代:14%、50代:15%、60代:13%、70代以上:14%

⑤調査結果概要:【中心市街地への来街頻度・来街目的に関する質問について】

- ・全体として週1回以上訪れる方の割合は6割強となっている。
- ・「買い物」と回答した方が最も多く約34%、次いで「仕事」と「飲食(昼)」と回答した方が多い。

【中心市街地に来る手段・回遊手段に関する質問について】

- ・中心市街地への来街手段について「自動車」との回答が37%と最も多く、次いで「徒歩」が21%、「路線バス」が12%となっている。
- ・中心市街地内の回遊手段について「徒歩」が45%と最も多く、次いで「自動車」が23%、「ベニちゃんバス」が13%となっている。

【歩くことに関する質問について】

- ・歩いて楽しいと感じるまちにあるものに関する質問について、「ウィンドウショッピングが楽しめる」と回答した割合が25%と最も多く、次いで「歴史を感じる街並みがある」、「食べ歩き・はしごができる」の回答が多い。

【居住に関する質問について】

- ・「中心市街地に住んでみたいと思うか」という質問について、「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が34%と最も多くなり、次いで「そう思う」が28%となっている。

4. 中心市街地キャッシュレス化推進事業

中心市街地におけるキャッシュレス化の推進及び端末導入店舗の各種決済データを活用したデータマーケティングを実施するため、モデル店舗を選定し、オールインワン端末の貸与を行った。年度内にモデル店舗のキャッシュレス活用結果を収集し、情報の整理を行い、今後のキャッシュレス化の推進の検討を行う。

【モデル事業内容】(令和3年8月1日～令和4年7月31日)

- ①決済サービス月額利用料及び端末保証費の無償化
- ②交通系電子マネー利用時の手数料の低減
- ③端末導入店舗に対するフォローの実施

【端末導入モデル店舗】

NO.	業種	店名	導入パターン
1	飲食	鯨処辰	新規
2	飲食	焼き鳥蒼	新規
3	飲食	bar巢穴	新規
4	飲食	小柳 本店	新規
5	飲食	小柳 地下店	新規
6	飲食	小柳 七日町店	新規
7	物販	補聴器本舗やまがた	切替
8	飲食	夜the藏	拡張
9	飲食	food & bar KABURETTA	拡張
10	飲食	やまや弥平	拡張
11	飲食	酒蓋屋けん	拡張
12	飲食	れんげ草	拡張
13	飲食	鶏やあさぎ	拡張
14	飲食	小料理BARあんのん	拡張
15	飲食	居酒屋倉	拡張
16	飲食	居酒屋スナックわらべ	拡張
17	飲食	キッチンリーフ	拡張
18	飲食	串蔵みつる	拡張
19	飲食	カフェTREE	拡張
20	物販	SHOES SHOP D YAMAGATA	新規

【モデル店舗におけるキャッシュレス決済の傾向】

■モデル事業の分析結果について

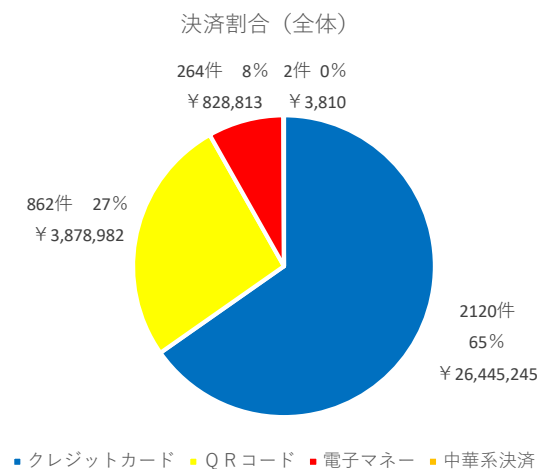
- ①全体的にクレジットカード決済が多く、全体の65%となる。次いで、QRコード決済が26%となり、合わせると90%を超える。
- ②電子マネー決済は8%に留まっているが、今後、チェリカの普及に伴い電子マネーの割合が増える可能性はある。
- ③中華系決済の利用はコロナの影響でインバウンドが低迷したことにより、効果検証ができなかった。
- ④平均単価で見ると、1万円を超えるとときにカード決済の利用が多く、3～4千円の時には他の決済方法が使われている。
- ⑤カード決済では、VISA・MASTERが70%、QRコードでは、PayPayが78%、電子マネーでは、交通系が45%となり同じカテゴリーにあっても偏りがみられるが、満遍なく使われている店舗もあり、客層や客単価などの違いによって決済方法や割合に差が出ている。
- ⑥店舗によっては端末以外の決済方法(特にQRコード)も並行して利用する場合もある。

(表)モデル店舗におけるキャッシュレス決済の内訳(令和3年8月～令和4年7月)

決済手段	ブランド等	件数 内訳	金額	件数 計	金額計	割合	平均単価 (円)
クレジットカード	VISA/MASTER	1,491	17,573,760	2,120	26,445,245	65%	12,474
	JCB/AMEX/ DINERS/ DISCOVER	629	8,871,485				
QR コード	PayPay	672	3,030,417	862	3,878,982	27%	4,500
	LINE Pay	5	22,920				
	d払い	127	618,255				
	メルペイ	21	41,900				
	au PAY	37	165,490				
	銀行Pay	0	-				
電子 マネー	交通系IC	119	287,828	264	828,813	8%	3,139
	WAON	62	175,735				
	iD	83	365,250				
中華系 決済	Alipay	1	1,480	2	3,810	0%	1,905
	We Chat Pay	1	2,330				
	銀聯Pay	0	-				
合計		3,248 件	31,156,850 円	3,248 件	31,156,850 円	100 %	9,593円

■店舗ヒアリング内容

- ◇現金とキャッシュレス決済の比率⇒7:3
- ◇キャッシュレス決済の使用頻度⇒増加傾向
- ◇業務効率改善実感店舗⇒60%
- ◇利便性実感店舗⇒82%



※JCB系列の決済ブランドは10月より導入

5. その他

(1)ウォーカブルの推進

居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり(ウォーカブルなまちづくり)を進めるため、山形駅前大通りにおいて、店舗前や歩行空間を活用したテラス化事業を実施し、来街者の回遊性・滞留性の向上を図る。

①実施時期：令和4年6月25日(土)～10月31日(月)

②実施範囲：山形駅前大通り

③実施内容

i 歩道空間や店舗前にベンチやテーブル・イスを設置する。

ii 週末・祝日や一部平日に10時～18時の間にパラソルを設置する。

iii パラソル設置の安全管理に併せてアンケート調査を行い、事業の効果検証を行う。

(図)設置エリア図



(2) 願いちょうちんやしよまかしよプロジェクトの実施について

① 事業目的

3年ぶりに中心市街地で開催される「山形花笠まつり」に併せ、子どもたちが思い思いの絵や願い事を描いた提灯を街なかに飾ることで、まつりに向けての気運を醸成するとともに、街に活気を取り戻すことを目的として実施

② 実施主体

願いちょうちんやしよまかしよプロジェクト実行委員会

③ 実施内容

- ・市内の小学生に描いてもらった提灯を山形駅や山形駅前大通りに装飾する
- ・8月1日～8月7日(山形花笠まつり最終日)の間、11時～21時の時間帯で山形駅前大通りに設置したスピーカー5機より、花笠音頭を掛け流す
- ・山形市と交流協定を結んでいる台南市の金城中学校の生徒が描いた提灯を山形駅東西自由通路に装飾する

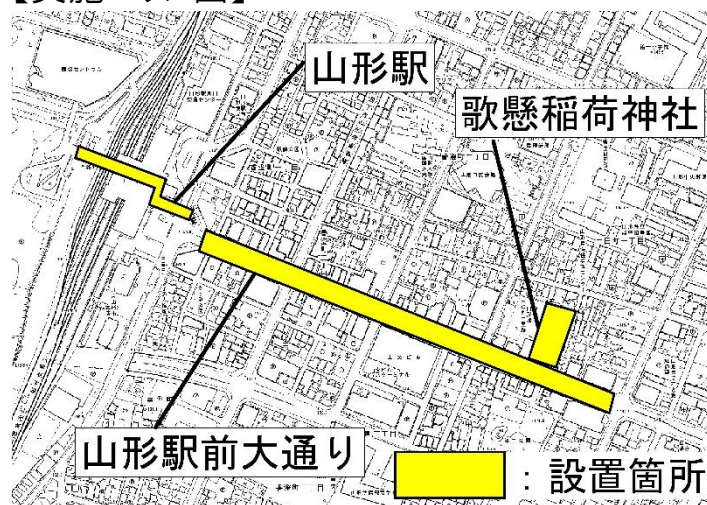
④ 期間

令和4年7月8日(金)～8月20日(土)

⑤ 場所

山形駅、山形駅前大通り、歌懸稲荷神社

【実施エリア図】



⑥ 設置状況について

山形駅改札前



山形駅東口ペDESTリアンデッキ



山形駅前大通り



山形駅東西自由通路



山形駅東西自由通路



歌懸稻荷神社



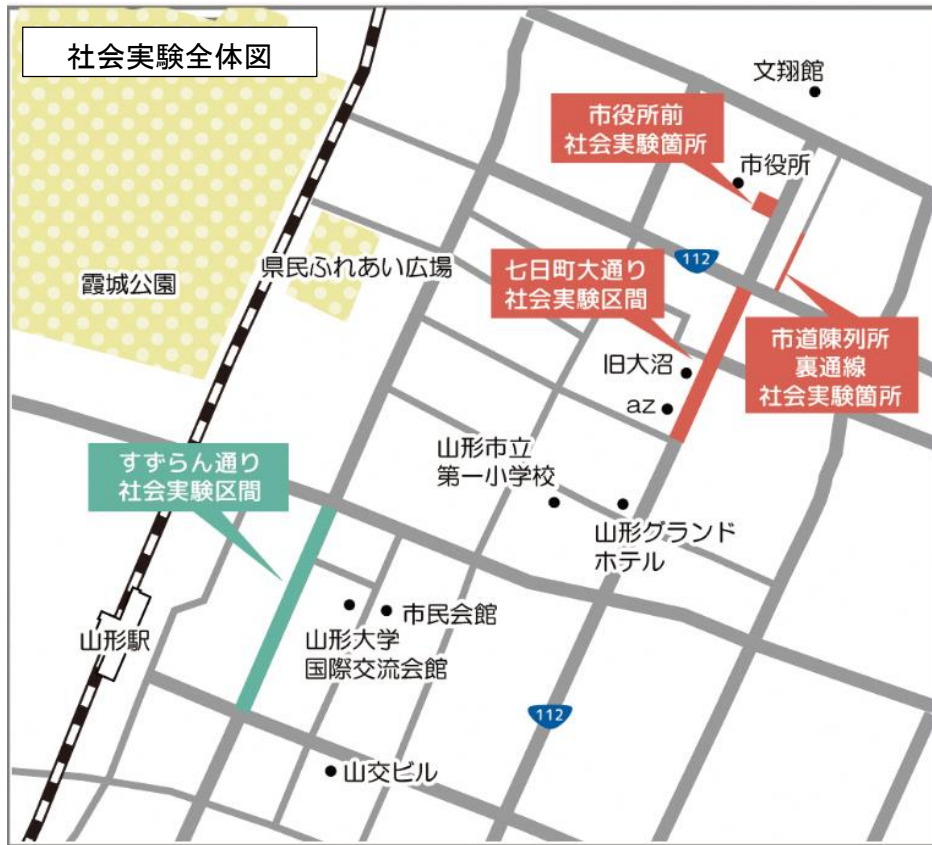
(3) 中心市街地歩行者空間創出等事業における社会実験について

① 事業概要

山形市は令和2年3月に国土交通省が募集する「ウォーカブル推進都市」となり、居心地が良く歩きたくなる(ウォーカブルな)まちなかづくりを進めている。

ウォーカブルなまちなかづくりに向け、すずらん商店街や七日町大通り等において、商店街組織と連携しながら道路を含む公共空間の更なる高度利用を図る社会実験を実施。

この実験を通して機能的かつ魅力的な都市空間の在り方を検討し、リバブルシティ基盤整備構想の実現に繋げていく。



社会実験ロゴ



社会実験インスタ



② 各社会実験の概要

◆すずらん商店街

内容 路上駐車スペースにパークレット(ポケットパーク)2箇所設置

場所 ホテルクラウンヒルズ前、シャンティ前

期間 令和4年8月14日から令和4年10月31日



◆七日町大通り

内容 歩道の一部にテーブルやベンチ等を置き滞在空間を創出

場所 八文字屋西側丁字路からNANA-BEANS西側十字路

期間 令和4年8月17日から令和4年10月31日



◆ほっとなる広場

内容 ほっとなる広場に遊具等を設置し子どもの遊び場を創出

期間 令和4年8月11日から令和4年10月31日



▲現在、子ども用のベンチ・イス、黒板、スイングベンチ等を設置しています。



▲9月下旬から10月末は、子どもから大人まで楽しめるスポーツ機能(単管パイプのパークール体験施設)導入予定

◆陳列所裏通線(山銀本店の東側)

内容 路肩の一部にイステーブルを置く等のテラス化

期間 令和4年9月の休日(予定)

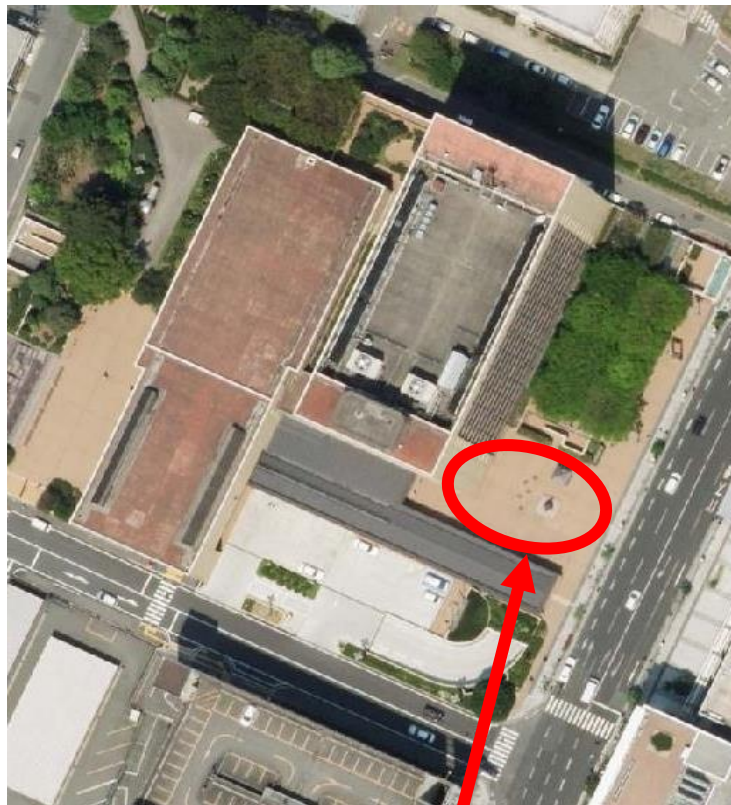


▲イメージ (盛岡市葦手町)

◆市役所敷地東側

内容 テーブル、ベンチ、パラソル等を設置し滞在空間を創出、キッチンカー等の出店(午前10時30分から午後3時)

期間 令和4年9月9日から令和4年9月29日



会場

